

研究協力をお願い

昭和医科大学では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

SSRI または SNRI を内服する入院患者における鉄栄養状態（フェリチン）と治療反応性の関連

1. 研究の対象および研究対象期間

2023年4月1日から2025年3月31日に昭和医科大学病院または昭和医科大学病院附属東病院に入院し、SSRI または SNRI を内服している患者さん

2. 研究目的・方法

本研究では、入院中に抗うつ薬（SSRI または SNRI）を使用した患者さんを対象に、体内の鉄の状態と治療の効果との関係を調べます。

鉄は脳の働きに関係する物質の生成に関わっており、不足すると気分の落ち込みなどに影響する可能性がありますと考えられています。そのため、本研究では、体内にどのくらい鉄が蓄えられているかを示す指標であるフェリチンに注目します。

具体的には、診療録（カルテ）に記載されている血液検査の結果や使用されているお薬の情報などを用いて、鉄の状態とお薬の効果との関係を調べます。

3. 研究期間

昭和医科大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから2027年3月31日まで

4. 研究に用いる試料・情報の種類

本研究では、新たに検査や採血を行うことはなく、診療録（カルテ）に記載されている以下の情報を使用します。

【患者さんの基本情報】

年齢、性別、身長、体重、体格指数（BMI）、これまでにかかったご病気、入院の原因となったご病気

【血液検査の結果】

血清フェリチン値、ヘモグロビン値、CRP（炎症の程度を示す値）、アルブミン値（栄養状態の指標）

【お薬の情報】

抗うつ薬（SSRI または SNRI）の種類、投与量、使用期間、薬の増量や変更の有無、抗精神病薬や睡眠薬の使用状況、鉄剤の使用の有無

【入院中の経過】

入院期間、退院時の状態（改善、不変など）

5. 外部への試料・情報の提供

該当いたしません。

6. 研究組織

研究責任者 昭和医科大学薬学部臨床栄養代謝学部門 氏名：唐沢浩二

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和医科大学薬学部臨床栄養代謝学部門

氏名：唐沢浩二

住所：東京都品川区旗の台 1-5-8

電話番号：03-3784-8408